

II 教務關係事項（博士前期課程）

II 教務関係事項(博士前期課程)

1 履修案内

1. 博士前期課程 修了認定の基準

修了認定の基準は、下記の修了に係る要件を満たすものとする。

(1) 博士前期課程

- 1 当該課程に2年以上在学すること。ただし、優れた研究業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に従い指導教員の指導により、30単位以上を修得すること。
- 3 必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査に合格すること。
- 4 最終試験に合格すること。

(2) 博士前期課程(分子イメージング教育コース)

- 1 当該課程に2年以上在学すること。ただし、優れた研究業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に従い指導教員の指導により、30単位以上を修得すること。
- 3 必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査に合格すること。
- 4 最終試験に合格すること。

2. 授業科目の履修について

博士前期課程で開設している授業科目、単位数、担当教員はP11～P14のとおりです。

3. 履修の届出について

(1) 履修登録

学生は、学年の始めに示される授業時間割表及びシラバス等により立てた履修計画に基づき、各期(前期、後期)に履修しようとするすべての授業科目を履修登録しなければなりません。履修登録は、指定された期間中に学内のコンピュータ端末を利用して各自行うこととします(履修登録のない科目の単位修得は認められません。)。履修登録後は、登録された履修科目が各自の計画どおり登録されているか必ず確認してください。

(2) 履修科目の変更及び中途よりの履修

履修登録後は履修科目の変更及び中途よりの履修は原則として認めません。

但し、登録内容の誤りなどで、履修科目の追加又は変更を希望する場合は、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末を利用して変更等することができます。

(3) 履修科目の取消

履修登録した科目を途中で履修することができなくなった場合は、直ちに薬学系教務学生担当へ申し出てください。

なお、履修登録の取り消しについても追加・変更同様、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末を利用して取消しすることができます。

【シラバス】

各授業科目の概要・授業計画等は、平成26年度シラバスに掲載してありますので、各自、パソコンで確認してください。

URL:http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

4. 修得単位の認定

各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告により担当教員が行います。

上記にかかわらず、特別研究及びセミナーの授業科目については、平素の成績により、単位の修得を認定することがあります。

5. 成績評価基準

医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻における成績評価は、試験、授業における発表・討論などへの取り組み、レポート、小テストなど、総合的に評価して行います。

そして、この総合評価に基づき、60点を単位認定基準とします。

なお、成績評価に関する学生の質問及び疑問等には、適切に対応するものとします。

6. 成績及びGPA

成績の評価は、下表のとおり表記します。

なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合については、F（不合格）とします。

成績の評語及びグレード・ポイント（GP）

評語	GP	評点	基準等
A+	4	100～90点	合格（単位修得）
A	3	89～80点	
B	2	79～70点	
C	1	69～60点	
F	0	59点以下	不合格
W	対象外	付さない	履修登録後、履修取消期間等に取消を行った場合
認定	対象外	付さない	既修得単位による単位認定等を受けた場合
修了	対象外	付さない	授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたい場合、又は一定の到達度をもって評価し単位をする場合
未修得	対象外	付さない	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、不合格（単位を授与しない。）とする場合

また、次の算式により、GPAを算出します。

$$GPA = \frac{\text{（履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP）の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の総和}}$$

おって、修得済み単位及びその成績評価並びにGPAについては、学務システム（WEB）により通知しますので、各自確認を行ってください。確認方法及びその時期については、掲示により周知を行います。

7. 研究指導の計画

各学年の始めに、実際の指導教員が「研究指導計画書」（別紙の様式）を作成し、指導する各学生に交付します。研究計画を自身で立て、下記作成要領に従い、指導教員から「研究指導計画書」の交付を受けてください。

また、交付を受けた「研究指導計画書」をコピーし、それを4月末までに（10月入学者にあつては、10月末までに）薬学系教務学生担当へ提出してください。

【作成要領】

- 1 学生本人が研究指導計画書（Word文書ファイル）の「研究計画」欄を入力する。または、出力した研究指導計画書に自書する。

- 2 学生本人より、研究指導計画書（Word文書ファイル）を実際の指導教員へメール等で提出する。「研究計画」欄を学生が自書した場合は、「研究計画」欄を記入済みの研究指導計画書を指導教員へ提出する。
- 3 指導教員は、研究指導計画書を入力・完成させ、出力のうえ、当該学生へ交付する。入力済みの研究指導計画書（Word文書ファイル）は、指導教員が保管する。
- 4 研究指導計画書の交付を受けた学生は、「学生氏名」欄を自署のうえ、そのコピーを薬学系教務学生担当へ提出する。コピー元の研究指導計画書は、学生本人が保管する。

8. 学位論文の評価基準

学位（修士）論文は、以下の基準により評価します。

- 1 論文記載の主な研究成果については、本人が得たものであることを証明でき、質・量ともに担保されていること。
- 2 論文記載の研究成果に、新規性・進歩性が認められ、当該研究領域のさらなる進展に貢献するものであること。
- 3 論文形態・書式が当該論文分野の関連専門雑誌の投稿理念・規定に倣っていること。

9. 他大学の大学院の授業科目の履修について

博士前期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院又はこれに相当する高等教育機関等を含む。）の授業科目の履修を希望するときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。

10. 入学前の既修得単位の認定について

博士前期課程の学生が、大学院に入学する前に本学又は他大学の大学院において履修した授業科目について、修得した単位の認定を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、認定を受けなければなりません。

11. 他大学の大学院等への研究指導委託生の派遣について

博士前期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む。）又は研究所等において必要な研究指導を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。派遣期間は1年以内です。

12. 薬学部授業科目に係る科目等履修生制度について

博士前期課程の学生は、科目等履修生制度により、薬学部授業科目を履修し、単位を修得することができます。履修を希望する授業科目の開講期の始めに、所定の様式により、薬学系教務学生担当に願い出てください。願い出の受付期間は、各期のWEB履修登録期間と同じです。

なお、薬剤師国家試験受験資格を取得するために指定科目の履修を願い出る場合は、8単位を上限とします。詳細については、P100～P101を参照してください。

13. 修士課程医歯科学専攻との相互履修科目について

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に規定される修士課程医歯科学専攻の開講授業科目について、4単位を上限として、修了要件単位に算入することができます。履修を希望する場合は、所定の様式により指導教員の承認を受けて、教務学生担当へ提出してください。

研究指導計画書

【平成 年 月 日 作成】

学生番号		フリガナ 学生氏名 【自署】					
講座名		教育研究 分野名					
課程	博士前期・博士後期		在学年次	年次	入学年度	平成 年度	
出身大学	学部	大学		学部	学科 (年 月 卒業)		
	修士 ※1	大学大学院		研究科	専攻 (年 月 修了)		
		修士論文 題目				学位の名称	
						指導教員名	
研究題目							
研 究 指 導 計 画	指導教員		副指導教員	※2	※2		
	研究計画 (学会発表、論文作成等を含む) : 学生が記入						
	研究指導計画 : 指導教員が記入						
本欄は各研究科で適宜利用 * 欄が不足する場合は適宜追加可能 * 副指導教員も必要に応じて、教員名を明記して記載することも可							

※1 博士前期課程の学生については、記入不要です。

※2 指導教員は、副指導教員を定め、記入してください。

2. 開講授業科目及び担当教員

1. 博士前期課程 薬科学専攻

履修方法 指導教員の指導により、30単位以上を修得すること。
また、「医歯科学専攻の相互履修科目」については、4単位を上限として、修了要件に含めることができる。

講義番号	授業科目	担当教員	単位数		期別
			必修	選択	
別紙参照	(研究指導科目) 薬科学特別研究	各教員	12		通年
別紙参照	薬科学特別応用研究(2年次専用)	各教員		6	通年
別紙参照	薬科学セミナー	各教員	4		通年
別紙参照	薬科学応用セミナー(2年次専用)	各教員		2	通年
335061	(専門科目) 先端薬学特論	(学務委員長)	2		通年
335062	有機化学・天然物化学	竹内 靖雄 教授 波多野 力 教授 宮地 弘幸 教授 澤田 大介 教授 加来田博貴 准教授 松野 研司 准教授 神野 伸一郎 准教授 谷口 抄子 准教授		2	後期集中
335063	分析科学・物理化学	榎本 秀一 教授 須藤 雄気 教授 山下 敦子 教授 御船 正樹 准教授 上田 真史 准教授 井上 剛 准教授		2	前期集中
335064	生命科学1	田中 智之 教授 上原 孝 教授 森山 芳則 教授 須野 学 准教授 表 弘志 准教授 宮地 孝明 准教授 古田 和幸 准教授		2	前期集中
335065	生命科学2	三好 伸一 教授 成松 鎮雄 教授 金 惠淑 准教授 黒田 照夫 准教授 根岸 友恵 准教授 有元佐賀恵 准教授		2	後期集中
335066	生命科学3	狩野 光伸 教授 黒崎 勇二 教授 檜垣 和孝 教授 合葉 哲也 准教授 名倉 弘哲 教授 高山 房子 准教授 杉本 幸雄 准教授 大河原賢一 准教授 四宮 一昭 准教授		2	前期集中

講義番号	授 業 科 目	担 当 教 員	単位数		期別
			必 修	選 択	
	(医歯科学専攻の相互履修科目)				
321001	医歯科学概論	松井 秀樹 教 授		2	
321002	生命倫理学	栗屋 剛 教 授		1	
321003	人体構造学	大塚 愛二 教 授		2	
321004	口腔構造機能学	山本 敏男 教 授		2	
321005	人体生理学	松井 秀樹 教 授		2	
321006	生化学	竹居 孝二 教 授		2	
321007	病理病態学	松川 昭博 教 授		2	
321008	総合薬理学	西堀 正洋 教 授		2	
321009	生体材料学	松本 卓也 准教授		2	
321010	社会医歯科学	浜田 淳 教 授		2	
321011	臨床医歯科学概論	豊岡 伸一 教 授		2	

2. 博士前期課程 薬科学専攻（分子イメージング教育コース）

履修方法 指導教員の指導により、30単位以上を修得すること。
また、「医歯科学専攻の相互履修科目」については、4単位を上限として、修了要件に含めることができる。

講義番号	授業科目	担当教員	単位数		期別
			必修	選択	
別紙参照 別紙参照 別紙参照 別紙参照	(研究指導科目) 薬科学特別研究 薬科学特別応用研究(2年次専用) 薬科学セミナー 薬科学応用セミナー(2年次専用)	各教員 各教員 各教員 各教員	12 4	6 2	通年 通年 通年 通年
339001 339002	(分子イメージング教育コース科目) 分子イメージング科学概論 分子イメージング科学実習	榎本 秀一 教授 榎本 秀一 教授	2 4		後期集中 前期集中
335061 335062	(専門科目) 先端薬学特論 有機化学・天然物化学	(学務委員長) 竹内 靖雄 教授 波多野 力 教授 宮地 弘幸 教授 澤田 大介 教授 加来田博貴 准教授 松野 研司 准教授 神野 伸一郎 准教授	2	2	通年 後期集中
335063	分析科学・物理化学	谷口 抄子 准教授 榎本 秀一 教授 須藤 雄気 教授 山下 敦子 教授 御船 正樹 准教授 上田 真史 准教授		2	前期集中
335064	生命科学1	井上 剛 准教授 田中 智之 教授 上原 孝 教授 森山 芳則 教授 須野 学 准教授 表 弘志 准教授 宮地 孝明 准教授		2	前期集中
335065	生命科学2	古田 和幸 准教授 三好 伸一 教授 成松 鎮雄 教授 金 惠淑 准教授 黒田 照夫 准教授 根岸 友恵 准教授		2	後期集中
335066	生命科学3	有元佐賀恵 准教授 狩野 光伸 教授 黒崎 勇二 教授 檜垣 和孝 教授 合葉 哲也 准教授 名倉 弘哲 教授 高山 房子 准教授 杉本 幸雄 准教授 大河原賢一 准教授 四宮 一昭 准教授		2	前期集中

講義番号	授 業 科 目	担 当 教 員	単位数		期別
			必 修	選 択	
	(医歯科学専攻の相互履修科目)				
321001	医歯科学概論	松井 秀樹 教 授		2	
321002	生命倫理学	粟屋 剛 教 授		1	
321003	人体構造学	大塚 愛二 教 授		2	
321004	口腔構造機能学	山本 敏男 教 授		2	
321005	人体生理学	松井 秀樹 教 授		2	
321006	生化学	竹居 孝二 教 授		2	
321007	病理病態学	松川 昭博 教 授		2	
321008	総合薬理学	西堀 正洋 教 授		2	
321009	生体材料学	松本 卓也 准教授		2	
321010	社会医歯科学	浜田 淳 教 授		2	
321011	臨床医歯科学概論	豊岡 伸一 教 授		2	

3 博士前期課程 薬科学特別研究・セミナー

授業科目名	講義番号	担当教員
薬科学特別研究	別途指示	宮地 弘幸
		波多野 力
		澤田 大介
		竹内 靖雄
		森山 芳則
		榎本 秀一
		狩野 光伸
		黒崎 勇二
		合葉 哲也
		上原 孝
		檜垣 和孝
		須藤 雄気
		成松 鎮雄
		三好 伸一
		田中 智之
		山下 敦子
名倉 弘哲		
須野 学		
北村 佳久		

授業科目名	講義番号	担当教員
薬科学セミナー	別途指示	宮地 弘幸
		波多野 力
		澤田 大介
		竹内 靖雄
		森山 芳則
		榎本 秀一
		狩野 光伸
		黒崎 勇二
		合葉 哲也
		上原 孝
		檜垣 和孝
		須藤 雄気
		成松 鎮雄
		三好 伸一
		田中 智之
		山下 敦子
名倉 弘哲		
須野 学		
北村 佳久		

授業科目名	講義番号	担当教員
薬科学特別応用研究 (2年次)	別途指示	宮地 弘幸
		波多野 力
		澤田 大介
		竹内 靖雄
		森山 芳則
		榎本 秀一
		狩野 光伸
		黒崎 勇二
		合葉 哲也
		上原 孝
		檜垣 和孝
		須藤 雄気
		成松 鎮雄
		三好 伸一
		田中 智之
		山下 敦子
名倉 弘哲		
須野 学		
北村 佳久		

授業科目名	講義番号	担当教員
薬科学応用セミナー (2年次)	別途指示	宮地 弘幸
		波多野 力
		澤田 大介
		竹内 靖雄
		森山 芳則
		榎本 秀一
		狩野 光伸
		黒崎 勇二
		合葉 哲也
		上原 孝
		檜垣 和孝
		須藤 雄気
		成松 鎮雄
		三好 伸一
		田中 智之
		山下 敦子
名倉 弘哲		
須野 学		
北村 佳久		

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学のコースワーク （物質科学系研究分野）

人類は、生命普遍の生存欲求に加え、充足感を持って生きることをも希求する存在である。本薬学部は、人類を含む生命のこのような実態に相對して、物質の視点から解析し、相互作用する物質を創造し、その成果を正しく活用することについて教育し、それに基づいた新たな知を創生する人材を育成する。もって人類の構成する地球社会に貢献する。

○「概要」

薬学は、人類を含む生命の実態に基づき、

- 1) 解析：物質が及ぼす好悪両面の作用の基盤を解き明かす。
- 2) 創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3) 活用：開発・発見された物質を活用し、また新たな活用の方策を創案する。

これらの活動を担う人材を育成するために、関連する基礎及び応用の科学並びに技術を修得させ、また自ら新しい知を創生するための、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨する。さらに、社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し、国際社会の発展に寄与する人材を育成する。

このため、大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻では、所属大学院生に対し、特定領域の確固たる専門性を有しつつも、解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え、解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成する。

○「目的」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学（物質科学系研究分野）では、機能を制御できる物質を理解し、創出する創薬領域に力点を置きつつも、解析・創出・活用の全てにわたり、ヒトを含む生命や、その変化（疾病・病態）との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育する。さらに、これらを基にした新たな知の創生を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会に貢献する人材を育成する。

○「履修方法」

指導教員の指導により、30単位以上を習得すること。また、別資料記載、「医歯科学専攻の相互履修科目」については、4単位以上を上限として、終了要件に含めることができる。

○「教育課程表」

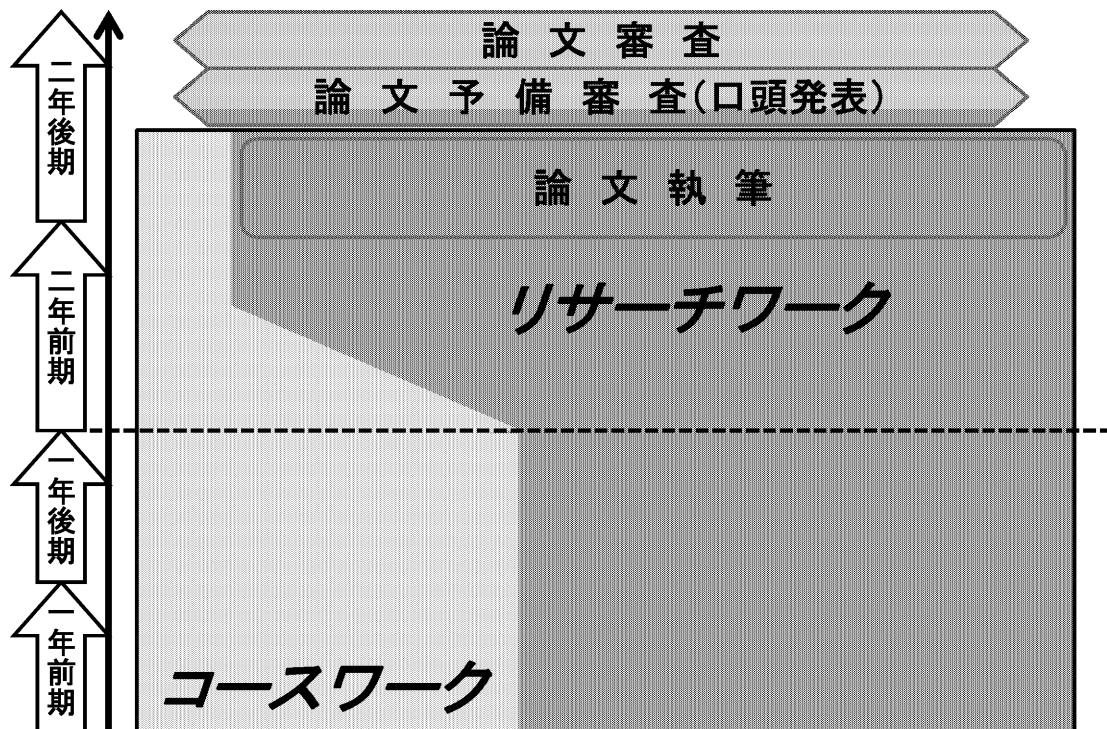
大学院医歯薬学総合研究科 博士前期課程 薬科学専攻 物質科学系

区分		授業科目	単位	備考
必修科目	研究指導科目	薬科学特別研究	12	通年
		薬科学セミナー	4	通年
選択科目	専門科目	先端薬学特論	2	通年
		研究指導科目	6	通年
	専門科目	薬科学特別応用研究	2	通年
		薬科学応用セミナー	2	通年
計	専門科目	有機化学・天然物化学	2	後期集中
		生命科学I	2	前期集中
			30	

* 専門科目の授業科目は1例である。

○「カリキュラムマップ」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学カリキュラムマップ概念図



大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学のコースワーク (分子イメージング教育コース)

人類は、生命普遍の生存欲求に加え、充足感を持って生きることをも希求する存在である。本薬学部は、人類を含む生命のこのような実態に相對して、物質の視点から解析し、相互作用する物質を創造し、その成果を正しく活用することについて教育し、それに基づいた新たな知を創生する人材を育成する。もって人類の構成する地球社会に貢献する。

○「概要」

薬学は、人類を含む生命の実態に基づき、

- 1) 解析：物質が及ぼす好悪両面の作用の基盤を解き明かす。
- 2) 創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3) 活用：開発・発見された物質を活用し、また新たな活用の方策を創案する。

これらの活動を担う人材を育成するために、関連する基礎及び応用の科学並びに技術を修得させ、また自ら新しい知を創生するための、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨する。さらに、社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し、国際社会の発展に寄与する人材を育成する。

このため、大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻では、所属大学院生に対し、特定領域の確固たる専門性を有しつつも、解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え、解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成する。

○「目的」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学（分子イメージング教育コース）では、新規放射性医薬品創薬研究、代謝生理学的研究、マイクロドーズ臨床試験などのトランスレーショナル研究等の分子イメージング領域に力点を置きつつも、解析・創出・活用の全てにわたり、ヒトを含む生命や、その変化（疾病・病態）との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育する。さらに、これらを基にした新たな知の創生を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会に貢献する人材を育成する。

○「履修方法」

指導教員の指導により、30単位以上を習得すること。また、別資料記載、「医歯科学専攻の相互履修科目」については、4単位以上を上限として、終了要件に含めることができる。

○「教育課程表」

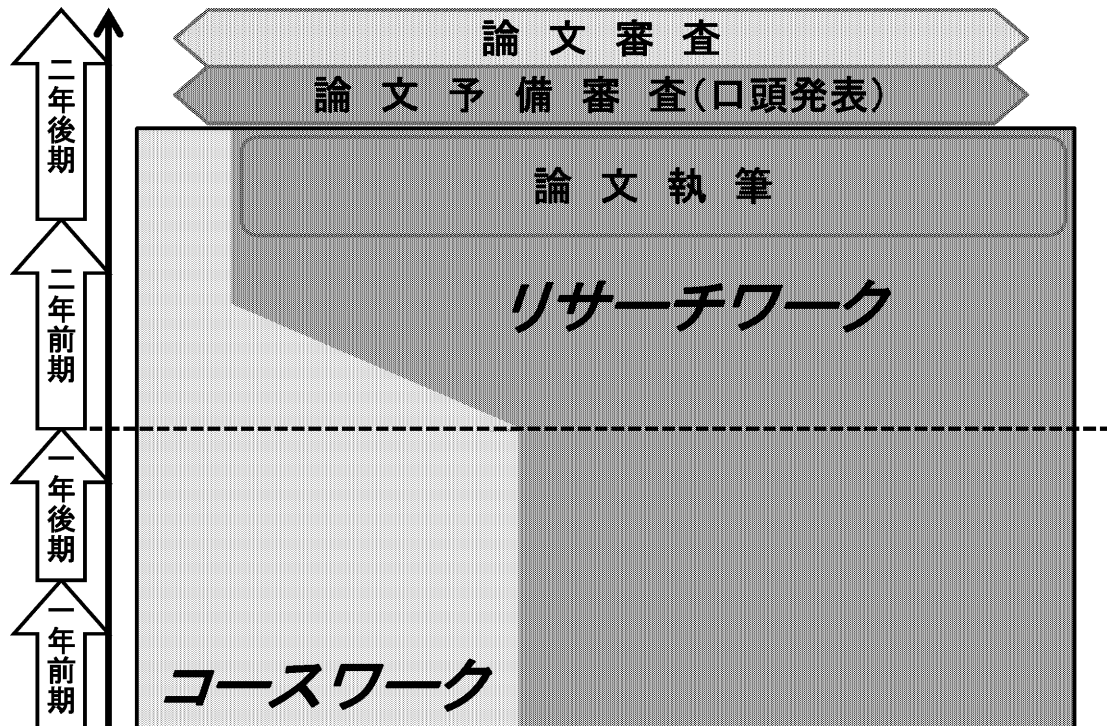
大学院医歯薬学総合研究科 博士前期課程 薬科学専攻 (分子イメージング教育コース)

区分		授業科目	単位	備考
必修科目	研究指導科目	薬科学特別研究	12	通年
		薬科学セミナー	4	通年
	分子イメージング教育 コース科目	分子イメージング科学概論	2	後期集中
		分子イメージング科学実習	4	前期集中
選択科目	専門科目	先端薬学特論	2	通年
	研究指導科目	薬科学応用セミナー	2	通年
	専門科目	分析科学・物理化学 生命科学II	2 2	前期集中 後期集中
計			30	

* 専門科目の授業科目は1例である。

○「カリキュラムマップ」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学カリキュラムマップ概念図



大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学のコースワーク (生命科学系研究分野)

人類は、生命普遍の生存欲求に加え、充足感を持って生きることをも希求する存在である。本薬学部は、人類を含む生命のこのような実態に相對して、物質の視点から解析し、相互作用する物質を創造し、その成果を正しく活用することについて教育し、それに基づいた新たな知を創生する人材を育成する。もって人類の構成する地球社会に貢献する。

○「概要」

薬学は、人類を含む生命の実態に基づき、

- 1) 解析：物質が及ぼす好悪両面の作用の基盤を解き明かす。
- 2) 創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3) 活用：開発・発見された物質を活用し、また新たな活用の方策を創案する。

これらの活動を担う人材を育成するために、関連する基礎及び応用の科学並びに技術を修得させ、また自ら新しい知を創生するための、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨する。さらに、社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し、国際社会の発展に寄与する人材を育成する。

このため、大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻では、所属大学院生に対し、特定領域の確固たる専門性を有しつつも、解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え、解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成する。

○「目的」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学（生命科学系研究分野）では、物質が及ぼす好悪両面の作用の基盤を解き明かす（薬理・毒性）解析領域に力点を置きつつも、解析・創出・活用の全てにわたり、ヒトを含む生命や、その変化（疾病・病態）との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育する。さらに、これらを基にした新たな知の創生を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会に貢献する人材を育成する。

○「履修方法」

指導教員の指導により、30単位以上を習得すること。また、別資料記載、「医歯科学専攻の相互履修科目」については、4単位以上を上限として、終了要件に含めることができる。

○「教育課程表」

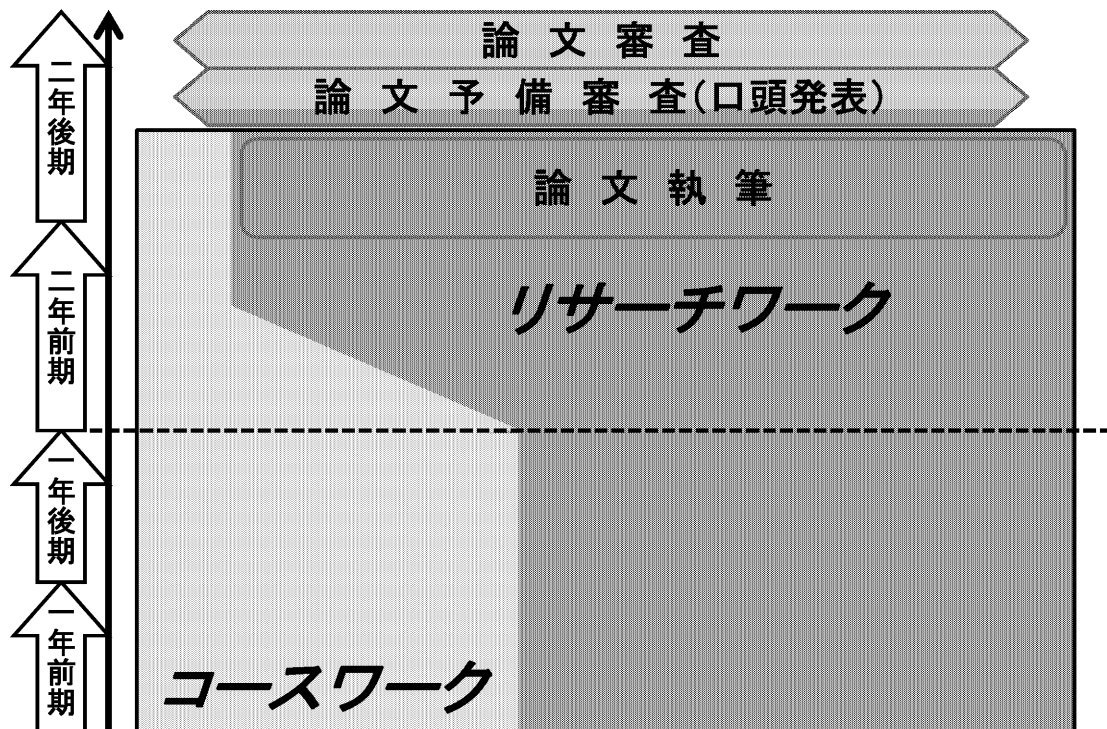
大学院医歯薬学総合研究科 博士前期課程 薬科学専攻 生命科学系

区分		授業科目	単位	備考
必修科目	研究指導科目	薬科学特別研究	12	通年
		薬科学セミナー	4	通年
選択科目	専門科目	先端薬学特論	2	通年
	研究指導科目	薬科学特別応用研究	6	通年
		薬科学応用セミナー	2	通年
	専門科目	分析科学・物理化学	2	前期集中
生命科学III		2	前期集中	
計			30	

* 専門科目の授業科目は1例である。

○「カリキュラムマップ」

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学カリキュラムマップ概念図



Ⅲ 教務關係事項（博士後期課程）

Ⅲ 教務関係事項(博士後期課程)

1 履修案内

1. 博士後期課程 修了認定の基準

修了認定の基準は、下記の修了に係る要件を満たすものとする。

(1) 博士後期課程

- 1 当該課程に3年以上在学すること。ただし、優れた研究業績を上げた者については1年(2年未満の在学期間をもって修士課程又は前期2年の課程を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。
- 2 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に従い指導教員の指導により、16単位以上を修得すること。
- 3 必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査に合格すること。
- 4 最終試験に合格すること。

(2) 博士後期課程(分子イメージング教育コース)

- 1 当該課程に3年以上在学すること。ただし、優れた研究業績を上げた者については1年(2年未満の在学期間をもって修士課程又は前期2年の課程を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。
- 2 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に従い指導教員の指導により、24単位以上を修得すること。
- 3 必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査に合格すること。
- 4 最終試験に合格すること。

2. 授業科目の履修について

博士後期課程で開設している授業科目、単位数、担当教員はP29～P32のとおりです。

3. 研究方法論基礎及び応用の開講について

研究方法論基礎及び応用(各2単位)の開講予定については、P33～P34を参照してください。

4. 履修の届出について

(1) 履修登録

学生は、学年の始めに示される授業時間割表及びシラバス等により立てた履修計画に基づき、各期(前期、後期)に履修しようとするすべての授業科目を履修登録しなければなりません。履修登録は、指定された期間中に学内のコンピュータ端末を利用して各自行うこととします(履修登録のない科目の単位修得は認められません。)。履修登録後は、登録された履修科目が各自の計画どおり登録されているか必ず確認してください。

(2) 履修科目の変更及び中途よりの履修

履修登録後は履修科目の変更及び中途よりの履修は原則として認めません。

但し、登録内容の誤りなどで、履修科目の追加又は変更を希望する場合は、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末を利用して変更等することができます。

(3) 履修科目の取消

履修登録した科目を途中で履修することができなくなった場合は、直ちに薬学系教務学生担当へ申し出てください。

なお、履修登録の取り消しについても追加・変更同様、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末を利用して取消しすることができます。

【シラバス】

各授業科目の概要・授業計画等は、平成26年度シラバスに掲載してありますので、各自、パソコンで確認してください。

URL:http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

5. 修得単位の認定

各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告により担当教員が行います。

上記にかかわらず、課題研究の授業科目については、平素の成績により、単位の修得を認定することがあります。

6. 成績評価基準

医歯薬学総合研究科博士後期課程薬科学専攻における成績評価は、試験、授業における発表・討論などへの取り組み、レポート、小テストなど、総合的に評価して行います。

そして、この総合評価に基づき、60点を単位認定基準とします。

なお、成績評価に関する学生の質問及び疑問等には、適切に対応するものとします。

7. 成績及びGPA

成績の評価は、下表のとおり表記します。

なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合についてもF（不合格）とします。

成績の評語及びグレード・ポイント（GP）

評語	GP	評点	基準等
A+	4	100～90点	合格（単位修得）
A	3	89～80点	
B	2	79～70点	
C	1	69～60点	
F	0	59点以下	不合格
W	対象外	付さない	履修登録後、履修取消期間等に取消を行った場合
認定	対象外	付さない	既修得単位による単位認定等を受けた場合
修了	対象外	付さない	授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたい場合、又は一定の到達度をもって評価し単位をする場合
未修得	対象外	付さない	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、不合格（単位を授与しない。）とする場合

また、次の算式により、GPAを算出します。

$$GPA = \frac{\text{（履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP）の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の総和}}$$

おって、修得済み単位及びその成績評価並びにGPAについては、学務システム（WEB）により通知しますので、各自確認を行ってください。確認方法及びその時期については、掲示により周知を行います。

8. 研究指導の計画

各学年の始めに、実際の指導教員が「研究指導計画書」（別紙の様式）を作成し、指導する各学生に交

付します。研究計画を自身で立て、下記作成要領に従い、指導教員から「研究指導計画書」の交付を受けてください。

また、交付を受けた「研究指導計画書」をコピーし、それを4月末までに（10月入学者にあつては、10月末までに）薬学系教務学生担当へ提出してください。

【作成要領】

- 1 学生本人が研究指導計画書（Word文書ファイル）の「研究計画」欄を入力する。または、出力した研究指導計画書に自書する。
- 2 学生本人より、研究指導計画書（Word文書ファイル）を実際の指導教員へメール等で提出する。「研究計画」欄を学生が自書した場合は、「研究計画」欄を記入済みの研究指導計画書を指導教員へ提出する。
- 3 指導教員は、研究指導計画書を入力・完成させ、出力のうえ、当該学生へ交付する。入力済みの研究指導計画書（Word文書ファイル）は、指導教員が保管する。
- 4 研究指導計画書の交付を受けた学生は、「学生氏名」欄を自署のうえ、そのコピーを薬学系教務学生担当へ提出する。コピー元の研究指導計画書は、学生本人が保管する。

9. 学位論文の評価基準

学位（博士）論文は、以下の基準により評価します。

- 1 主たる論文内容が申請者の研究結果であること
- 2 論文内容が質・量ともに担保されていること
- 3 新規性・進歩性が認められ、当該研究領域のさらなる進展に貢献するものであること
- 4 論文形態・書式が当該論文分野の関連専門雑誌の投稿理念・規定に倣っていること

10. 他大学の大学院の授業科目の履修について

博士後期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む。）授業科目の履修を希望するときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。

なお、履修した単位は、10単位を限度として修了に必要な単位として認定することができます。

11. 他大学の大学院等への研究指導委託生の派遣について

博士後期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む。）又は研究所等において研究指導を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。派遣期間は1年以内です。ただし、必要な手続きを経て承認された場合は、延長することができます。

12. 薬学部授業科目に係る科目等履修生制度について

博士後期課程の学生は、科目等履修生制度により、薬学部授業科目を履修し、単位を修得することができます。履修を希望する授業科目の開講期の始めに、所定の様式により、薬学系教務学生担当に願い出てください。願い出の受付期間は、各期のWEB履修登録期間と同じです。

なお、薬剤師国家試験受験資格を取得するために指定科目の履修を願い出る場合は、P100～P101を参照してください。別途指定された期間に申請が必要ですので、詳細は教務学生担当までお問い合わせください。

研究指導計画書

【平成 年 月 日 作成】

学生番号		フリガナ 学生氏名 【自署】					
講座名		教育研究 分野名					
課程	博士前期・博士後期		在学年次	年次	入学年度	平成 年度	
出身大学	学部	大学		学部	学科 (年 月 卒業)		
	修士 ※1	大学大学院		研究科	専攻 (年 月 修了)		
		修士論文 題目				学位の名称	
						指導教員名	
研究題目							
研 究 指 導 計 画	指導教員		副指導教員	※2	※2		
	研究計画（学会発表、論文作成等を含む）：学生が記入						
	研究指導計画：指導教員が記入						
	本欄は各研究科で適宜利用 *欄が不足する場合は適宜追加可能 *副指導教員も必要に応じて、教員名を明記して記載することも可						

※1 博士前期課程の学生については、記入不要です。

※2 指導教員は、副指導教員を定め、記入してください。

2. 開講授業科目及び担当教員

1. 博士後期課程 薬科学専攻

履修方法 指導教員の指導により、16単位以上を修得すること。

専門科目【選択科目】については、3授業科目3単位以上を履修すること。3授業科目のうち2科目以上は*印の授業科目を履修すること。

専門科目【薬科学演習】は、所属する教育研究分野の講義1授業科目2単位(必修科目)及び他の教育研究分野1授業科目2単位以上(選択科目)を履修すること。選択科目については、博士課程専門科目(講義・演習)を履修することができる。対象科目は、薬学系教務学生担当にて確認すること。

講義番号	講義題目	担当教員	単位数		修了要件 単位数
			必修	選択	
725001	(専門基盤科目) 研究方法論基礎	各教員	2		2単位
725002	研究方法論応用	各教員	2		2単位
別紙参照	(研究指導科目) 課題研究	各教員	4		4単位
別紙参照	薬科学英語演習	各教員	1		1単位
	(専門科目) 【選択科目】				
728101	* ケミカルバイオロジー	宮地 弘幸 教授		1	
728116	* 精密合成設計学	澤田 大介 教授		1	
728103	* 医薬品製造学	竹内 靖雄 教授		1	
		西岡 弘美 助教			
728104	* 医薬開発臨床情報学	加来田博貴 准教授		1	
728105	* 薬用天然資源化学概説	波多野 力 教授		1	
728106	* 天然物化学概説	谷口 抄子 准教授		1	
728107	* 医薬品機能分析化学	榎本 秀一 教授		1	
		御船 正樹 准教授			
728108	* トランスポーター学	森山 芳則 教授		1	
		宮地 孝明 准教授			
728109	* 生体膜輸送科学	表 弘志 准教授		1	
728110	* 薬物動態解析学	檜垣 和孝 教授		1	
728111	* DDS製剤概論	大河原賢一 准教授		1	
728112	* 微生物医薬品学	黒田 照夫 准教授		1	
728113	* 生体応答制御学	田中 智之 教授		1	
728114	* 生体分子解析学A			1	
728115	* 生体分子解析学B	井上 剛 准教授		1	
728201	薬物代謝解析学	成松 鎮雄 教授		1	
728202	情報伝達機能学			1	
728203	薬効解析学	上原 孝 教授		1	
728204	炎症薬理学	杉本 幸雄 准教授		1	
728205	機能性医薬品設計学	黒崎 勇二 教授		1	
728206	薬物療法設計学	合葉 哲也 准教授		1	
728207	医薬品安全性学	根岸 友恵 准教授		1	
		有元佐賀恵 准教授			
728209	病態医薬品機能解析学	高山 房子 准教授		1	
728210	臨床病態診断学	小倉 俊郎 教授		1	
		大西 勝 教授			
		清水 幸登 准教授			
		岩崎 良章 准教授			
728211	環境微生物化学	三好 伸一 教授		1	
728212	医薬品分子標的学	金 恵淑 准教授		1	
728214	医薬品臨床応用学	狩野 光伸 教授		1	
		四宮 一昭 准教授			
728215	膜タンパク質構造生物学	山下 敦子 教授		1	
728216	防災危機管理学	名倉 弘哲 教授		1	

選択3単位

講義番号	講義題目	担当教員	単位数		修了要件 単位数		
			必修	選択			
	(専門科目)						
	【薬科学演習】 各2単位						
728301	ケミカルバイオロジー演習	宮地 弘幸 教授	}	}	必修2単位 選択2単位		
728316	精密合成設計学演習	澤田 大介 教授					
728303	医薬品製造学演習	竹内 靖雄 教授					
		西岡 弘美 助教					
728304	創薬知的財産学演習	加来田博貴 准教授					
728305	薬用天然資源化学演習	波多野 力 教授					
728306	天然物化学概説演習	谷口 抄子 准教授					
728307	医薬品機能分析学演習	榎本 秀一 教授					
		御船 正樹 准教授					
728308	トランスポーター学演習	森山 芳則 教授				2	2
		宮地 孝明 准教授					
728309	生体膜輸送科学演習	表 弘志 准教授					
728310	薬物動態解析学演習	檜垣 和孝 教授					
728311	生体内薬物送達学演習	大河原賢一 准教授					
728312	微生物医薬品学演習	黒田 照夫 准教授					
728313	生体応答制御学演習	田中 智之 教授					
728314	生体分子解析学A演習						
728315	生体分子解析学B演習	井上 剛 准教授					

2. 博士後期課程 薬科学専攻（分子イメージング教育コース）

履修方法 指導教員の指導により、24単位以上を修得すること。

専門科目【選択科目】については、3授業科目3単位以上を履修すること。3授業科目のうち2科目以上は*印の授業科目を履修すること。

専門科目【薬科学演習】は、所属する教育研究分野の講義を含む1授業科目2単位以上を履修すること。

講義番号	講義番号・講義題目	担当教員	単位数		修了要件 単位数
			必修	選択	
725001	(専門基盤科目) 研究方法論基礎	各教員	2		2単位
725002	研究方法論応用	各教員	2		2単位
別紙参照	(研究指導科目) 課題研究	各教員	4		4単位
別紙参照	薬科学英語演習	各教員	1		1単位
729001	(分子イメージングプログラム科目) 分子イメージング科学概論	榎本 秀一 教授	2		2単位
729002	PET科学アカデミー	榎本 秀一 教授	2		2単位
729003	分子イメージング科学(講義・演習)	榎本 秀一 教授	2		2単位
729004	分子イメージング科学(演習・実習)	榎本 秀一 教授	4		4単位
728101	(専門科目) 【選択科目】 * ケミカルバイオロジー	宮地 弘幸 教授		1	選択3単位
728116	* 精密合成設計学	澤田 大介 教授		1	
728103	* 医薬品製造学	竹内 靖雄 教授		1	
728104	* 医薬開発臨床情報学	西岡 弘美 助教		1	
728105	* 薬用天然資源化学概説	加来田博貴 准教授		1	
728106	* 天然物化学概説	波多野 力 教授		1	
728107	* 天然物化学概説	谷口 抄子 准教授		1	
728107	* 医薬品機能分析化学	榎本 秀一 教授		1	
728108	* トランスポーター学	御船 正樹 准教授		1	
728109	* 生体膜輸送科学	森山 芳則 教授		1	
728110	* 生体膜輸送科学	宮地 孝明 准教授		1	
728110	* 薬物動態解析学	表 弘志 准教授		1	
728111	* DDS製剤概論	檜垣 和孝 教授		1	
728112	* 微生物医薬品学	大河原賢一 准教授		1	
728113	* 微生物医薬品学	黒田 照夫 准教授		1	
728113	* 生体応答制御学	田中 智之 教授		1	
728114	* 生体分子解析学A			1	
728115	* 生体分子解析学B	井上 剛 准教授		1	
728201	薬物代謝解析学	成松 鎮雄 教授		1	
728202	情報伝達機能学			1	
728203	薬効解析学	上原 孝 教授		1	
728204	炎症薬理学	杉本 幸雄 准教授		1	
728205	機能性医薬品設計学	黒崎 勇二 教授		1	
728206	薬物療法設計学	合葉 哲也 准教授		1	
728207	医薬品安全性学	根岸 友恵 准教授		1	
728209	病態医薬品機能解析学	有元佐賀恵 准教授		1	
728210	臨床病態診断学	高山 房子 准教授		1	
728211	環境微生物化学	小倉 俊郎 教授		1	
728212	医薬品分子標的学	大西 勝 教授		1	
728214	医薬品臨床応用学	清水 幸登 准教授		1	
728215	膜タンパク質構造生物学	岩崎 良章 准教授		1	
728216	防災危機管理学	三好 伸一 教授		1	
		金 恵淑 准教授		1	
		狩野 光伸 教授		1	
		四宮 一昭 准教授		1	
		山下 敦子 教授		1	
		名倉 弘哲 教授		1	

講義番号	講義番号・講義題目	担当教員	単位数		修了要件 単位数
			必修	選択	
	(専門科目)				
	【薬科学演習】 各2単位				
728301	ケミカルバイオロジー演習	宮地 弘幸 教授	}		必修2単位
728316	精密合成設計学演習	澤田 大介 教授			
728303	医薬品製造学演習	竹内 靖雄 教授			
		西岡 弘美 助教			
728304	創薬知的財産学演習	加来田博貴 准教授			
728305	薬用天然資源化学演習	波多野 力 教授			
728306	天然物化学概説演習	谷口 抄子 准教授			
728307	医薬品機能分析学演習	榎本 秀一 教授			
		御船 正樹 准教授			
728308	トランスポーター学演習	森山 芳則 教授			
		宮地 孝明 准教授			
728309	生体膜輸送科学演習	表 弘志 准教授			
728310	薬物動態解析学演習	檜垣 和孝 教授			
728311	生体内薬物送達学演習	大河原賢一 准教授			
728312	微生物医薬品学演習	黒田 照夫 准教授			
728313	生体応答制御学演習	田中 智之 教授			
728314	生体分子解析学A演習				
728315	生体分子解析学B演習	井上 剛 准教授			

**平成26～平成27年度
大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程及び博士課程
研究方法論(基礎・応用)開講予定表**

1. 曜日・時限 下表のとおり (原則的に、毎月第3金曜日)
2. 場 所 薬学部1号館2階 第1講義室
3. 単 位 各2単位(通年)

平成26年度

月 日	時限	担当教員	講義題目	
4月18日				オリエンテーション(4月入学者用)
	2	宮地 弘幸	基礎	化学生物学の基礎と応用
	3	松野 研司	応用	実践医薬化学
	4	竹内 靖雄	基礎	生理活性化合物の選択的合成
	5	加来田 博貴	応用	創薬・育薬化学
5月16日	2	波多野 力	基礎	ポリフェノール研究の基礎
	3	谷口 抄子	応用	植物におけるポリフェノール生産とその機能
	4	澤田 大介	基礎	天然物の全合成と骨格形成反応
	5			
6月20日	2	榎本 秀一	基礎	先端計測技術と最新医学
	3	上田 真史	応用	放射性分子プローブの開発と利用
	4	御船 正樹	応用	金属ポルフィリンの分析学的応用(HPLCへの応用を中心に)
	5	成松 鎮雄	基礎	*薬物代謝酵素の構造と機能との関連性
10月17日				オリエンテーション(10月入学者用)
	2	根岸 友恵	応用	*遺伝子と遺伝病
	3	上原 孝	基礎	*神経細胞死惹起機構の解析
	4			
	5	杉本 幸雄	応用	*炎症反応の病態とその治療について
11月21日	2	黒崎 勇二	基礎	*薬物療法設計を支援する製剤のデザインと評価
	3	有元 佐賀恵	基礎	*DNA損傷と変異・発癌過程
	4	高山 房子	応用	*代謝性酸化ストレス-炎症応答を標的とする抗メタボ・生活習慣病戦略
	5	合葉 哲也	応用	*個別化薬物療法のための臨床薬物動態学的アプローチ

博士後期課程

※ 修了 : 基礎及び応用, それぞれ10題目以上を履修することにより認定します。

10題目のうち, 博士課程薬学系及び医学系・歯学系の題目を2題目まで受講することができます。

2年間で計画的に必要な題目数を履修してください。

注) *印は, 博士課程薬学系の講義題目を表します。

注) 出席確認については, 基礎及び応用ごとに, 当該年度の「出席カード」を配付します。

注) 遅刻・早退した場合, 出席扱いにならないことがあります。

注) 休講, 日程・講義室変更がある場合は, 薬学部掲示板(薬学部1号館1階)及び薬学部ホームページに掲載している日程表を修正してお知らせしますので, 定期的に確認をしてください。

(http://pharm.okayama-u.ac.jp/cgi-bin/lecture/sr2_bbs.cgi)

注) 博士課程医学系・歯学系の予定は医歯薬学総合研究科ホームページに掲載している日程表にて確認してください。(<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/houhouron.html>)

平成27年度

月 日	時限	担当教員	講義題目	
4月17日				オリエンテーション (4月入学者用)
	2	森山 芳則	基礎	生体膜機能生化学実験法
	3	表 弘志	応用	生体膜による輸送機能の解析
	4	宮地 孝明	応用	トランスポーターの機能と生理的意義
	5	田中 智之	基礎	マスト細胞の生理的機能の解明
5月15日	2	檜垣 和孝	基礎	薬物吸収における胃排出挙動の重要性
	3	大河原 賢一	応用	ナノ粒子製剤を用いたがん治療
	4	黒田 照夫	基礎	細菌の抗菌薬多剤耐性
	5	井上 剛	応用	脳神経における電気信号の解析
6月19日	2	清水 幸登	応用	* 臨床病態診断学 D
	3	岩崎 良章	応用	* 臨床病態診断学 C
	4	大西 勝	基礎	* 臨床病態診断学 B
	5	小倉 俊郎	基礎	* 臨床病態診断学 A
10月16日	2			オリエンテーション (10月入学者用)
	3	名倉 弘哲	基礎	* 創傷治療における薬物療法
	4	金 惠淑	応用	* 医薬品分子標的学
	5	三好 伸一	基礎	* 細菌感染症制御の新戦略
11月20日	2			
	3	狩野 光伸	基礎	* ナノ病態学: ナノテクノロジーによる疾病理解の新たな視点
	4	四宮 一昭	応用	* 睡眠障害と病態実験モデルの応用
	5	山下 敦子	基礎	* 膜受容体・輸送体タンパク質の構造と機能

4 博士後期課程 課題研究 講義番号一覧

授業科目名	講義番号	講義題目	担当教員
課題研究	726001	ケミカルバイオロジー論	宮地 弘幸
	726003	合成医薬品開発学 A	竹内 靖雄
	726004	合成医薬品開発学 B	加来田 博貴
	726005	薬用天然資源化学研究	波多野 力
	726006	精密合成設計学	澤田 大介
	726007	医薬品機能分析学 A	榎本 秀一
	726008	医薬品機能分析学 B	御船 正樹
	726010	生体膜機能生化学研究	森山 芳則
	726011	生体膜機能解析	表 弘志
	726012	薬物送達制御学	檜垣 和孝
	726013	生体内薬物送達学	大河原 賢一
	726014	微生物医薬品学	黒田 照夫
	726015	生体応答制御学	田中 智之
			須藤 雄気
726017	生体分子解析学	井上 剛	

5 博士後期課程 薬科学英語演習 講義番号一覧

授業科目名	講義番号	講義題目	担当教員
薬科学英語演習	727001	ケミカルバイオロジー英語演習	宮地 弘幸
	727003	合成医薬品開発学 A英語演習	竹内 靖雄
	727004	合成医薬品開発学 B 英語演習	加来田 博貴
	727005	植物化学英語演習	波多野 力
	726006	精密合成設計学英語演習	澤田 大介
	727007	医薬品機能分析学 A 英語演習	榎本 秀一
	727008	医薬品機能分析学 B 英語演習	御船 正樹
	727010	生体膜機能生化学英語演習	森山 芳則
	727011	生体膜機能解析英語演習	表 弘志
	727012	薬物送達制御学英語演習	檜垣 和孝
	727013	生体内薬物送達学英語演習	大河原 賢一
	727014	微生物医薬品学英語演習	黒田 照夫
	727015	生体応答制御学英語演習	田中 智之
			須藤 雄気
727017	生体分子解析学英語演習	井上 剛	